

55年度予算案まとまる (一般会計) 62億3千8百万円

市の昭和55年度の一般会計予算案がまとまりました。54年度当初と比べ、7,800万円(1.3%)増の62億3,800万円となっています。予算案は、今月11日から開かれる市議会で審議されます。詳しい内容は4月1日号でお知らせします。

住みたくなるまちづくりをめざすことから、人件費、物件費などの消費的経費を押さえ、学校建設、道路整備などをはじめとする投資的経費を増やした積極投資型の予算案です。

【教育・文化施設の整備に】 ▶学校建設は3校で約11億9,000万円 ①白根小の改築工事の継続 ②茨曾根小の用地買収と移転改築を2年計画で ③大郷・鷺巻小の統合用地の買収と建設を3年計画で ▶新飯田小校庭のフェンス新設。白根小グラウンドのバックネット設置。白根一中の校庭緑化工事 ▶白井地区に、8,365万円で公民館を建設

【健康で明るいまちを】 ▶54年度で用地買収と造成を行った保健センターの建設に1億5,501万円 ▶国民健康づくり推進事業に477万円 ▶第7号児童公園として、旧白根浄水場跡地に水道公園を。その用地買収と整備に1億2,115万円

【福祉施設の充実に】 ▶諏訪木保育園を移転改築。定員は100人、約1億円です。▶铸物師児童館の建設に1,644万円 ▶老人福祉に2億216万円

このほか、道路整備や都市下水路整備にも力を注いでいきます。



▲教育施設の整備に大車輪。工事と授業の共同生活は今年度で解消(白根小)

避けられない厳しい現実の問題です——水田利用再編対策をのりきるには

集落ぐるみの集団転作を

転作目標面積は市内の水田の10.8%にも



▶二鈴、十二戸の集団転作で、いまはオクラの特産地といわれるようになった新村部落

団で行うことは、転作物物の栽培や経営面などで有利になります。市では、転作対策指導プロジェクトチームを編成し、農協や農業改良普及所などの協力をえて、地域の実情にあった経営指導や、転作物物の選定と普及などに取り組みようと、いま検討しています。

このほか、いろいろな対策をたてて、転作が出来るだけスムーズにいくよう努めています。よく相談され、厳しい生産調整をのりきりたいものです。

生産調整のご相談は、農政課農政係(☎☎二二二一内線二二二二)へ何でもお気軽にどうぞ。

協業経営で日本農業賞県代表に 高井生産組合



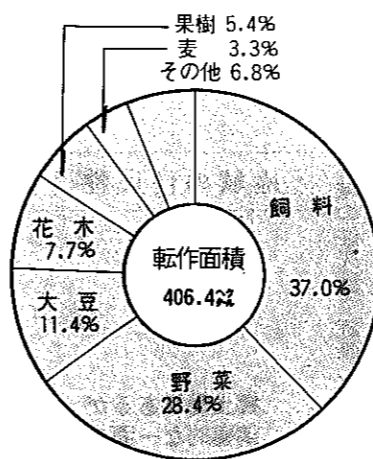
▲外は吹雪。ハウスの中で花木の手入れに励む組合員たち

経営や技術が、他の模範となる優秀な農業者に与えられる日本農業賞県代表に、高井生産組合(長谷川耕三代表)が選ばれました。高井生産組合は、十年前にトラクターの共同利用組織でスタートしたあと、受委託による稲作協業組織に発展。通年就業を目指して、花木の導入を図るなどの功績が認められたものです。

八十年代農業を取りまく情勢は、難関が山積みされ、余剰米はますます増え続けています。三年目を迎えた水田利用再編対策は、一層厳しさを増してきました。五十五年度、白根市に配分された転作面積は、四百八十九・三畝で、当市の水田面積の約一〇・八%にあたります。こうした厳しい生産調整をのりこえるには、バラ転作から集団化の転作へ切りかえが必要で、

八%におよぶものです。市では、二月四日から六日まで各地区で転作説明会を開き、市の基本的な考え方を説明。その際、農家へそれぞれ転作面積の配分を内示してきました。この仮配分を

54年度生産調整による 転作状況



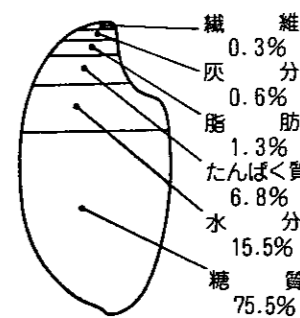
プロジェクチームの編成を検討中

転作をすすめていくにあたっては集落ぐるみで十分話し合い、ぜひ「集団化」をしてください。集産地の拡大方向にすすんでいます。

お米をもっと食べましょう

一般にその国の風土に適し、豊富に生産される農産物が、その国の主要な食べ物となっています。米作と米食の長い歴史は日本の文化はもとより、日本人の生理にも強い影響をおよぼし、

胃や腸の消化器系統が米食にきわめて順応しています。米は、カロリーの高い経済的な食べ物です。米のよさを見直して、米を中心とした食生活を構成し、健康的な食生活を。



352

カロリー (100gあたり)

▲広い倉庫に山積みされた余剰米。古いものは昭和51年の米まであるそうです